

南日本新聞 掲載

令和2年9月23日（水）

多様な性知って
LGBTで講演
志布志中

志布志市の志布志中
学校で17日、LGBT
(性的少数者)への理
解を深めてもらう人権



講演会があった。LGBT-JAPAN事業
統括九州支部長の児島
希望さん(27)は薩摩川
内市が「多様な性を
知る」をテーマに話し、
「人の数だけ性の在り
方が存在している」と
訴えた。写真。

児島さんは女性の体
に生まれ、現在は男性
に戸籍を変え生活。ク
エスチョニング(性的
指向や性自認が定まっ
ていない人)を加えた
LGBTQについて説
明した。

カミングアウトする
人と接する際は
「相手を傷つけ
ない最低ライン
は守って」と呼
び掛け、当事者
に向けては「自
分自身が人生の
ロールモデル
(手本)と自覚
してほしい」と
話した。

(永野雄一)

今日はLGBTのことについて教えていただきました。私たち3年生は1学期に、ビデオを視聴しながらLGBTQ+の授業をしました。今日の講話を聞いて心に残ったことは、「セクシャリティーは個性の一つでありLGBTQの当事者が特別なことではない。」ということです。LGBTの人は10人に1人はいて、身近なことで一人一人の考えを否定せずに、尊重することが大切だなと思いました。自分の個性も大切にして、周りの人を思いやる気持ちを持って行動したいと思います。